

「すくすく のびのび 子どもの生活習慣向上」キャンペーン実施要項

1 趣 旨

家庭教育は全ての教育の出発点であり、子どもたちが基本的な生活習慣・生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断等の基本的倫理観、自立心や自制心、社会的マナー等を身に付ける上で、重要な役割を担っている。

しかしながら、近年の家庭環境の多様化に伴い、地域とのつながりが希薄化するなど、子育てについての不安や孤立を感じたり、子どもの社会性や自立心、基本的な生活習慣の育成などに課題を抱えたりする家庭も増加している。

また、子どもの生活習慣は、家庭や社会の影響を受けやすいことから、学校における指導と併せ、家庭、地域や社会全体で望ましい子どもの生活習慣を育成していくことが一層求められている。

このような背景を踏まえ、さいたま市教育委員会では、学校・家庭・地域が子どもの生活習慣の向上に連携・協働して取り組む上で、「望ましい生活習慣等を身に付けた子どもの姿」を共有することが重要であることから、本キャンペーンを展開することとした。

また、この子どもの姿には、「教育に関するアンケート調査」や、さいたま市PTA協議会の協力を得て実施したアンケート調査の結果における保護者の思いや願いを踏まえ、今後、積極的に育成していく必要がある「やり抜く力」等の非認知能力なども、取り入れている。

2 強化期間の設定

毎年4月初旬及び7～8月（学校の夏季休業中）を強化期間とする。

3 主催等

(1) 主催：さいたま市教育委員会

さいたま市立小学校校長会、さいたま市中学校長会、さいたま市PTA協議会

(2) 共催：さいたま市私立幼稚園協会、さいたま市私立保育園協会

4 家庭に呼び掛ける内容等

(1) キャッチフレーズ：「みんなで育てる さいたまの子ども」

(2) ロゴマーク（右図）



(3) 家庭に呼び掛ける内容

㊦ 最後までやり抜く子「失敗は、うまくいかないということを確認した『成功』です！」

㊧ いつも元気にあいさつする子「笑顔で、あいさつしよう！」

㊨ 体験から学ぶ子「体験活動やボランティア活動に参加しよう！」

㊩ マナーとルールを守る子「みんなが気持ちよくなる行動をとろう！」

㊪ ノーメディアデーに家族との会話を楽しむ子「メディア（テレビ、ゲーム、インターネット）のルールをつくろう！」（毎月23日はノーメディアデー）

㊫ 困ったときに助け合う子「困っている人には、『お互い様』の心で声をかけよう！」

㊬ 読書で言葉を豊かにする子「読書タイムで、言葉の世界を楽しもう！」

㊭ 目標をもって活動する子「目標を立て、一つずつ取り組もう！」

㊮ 早寝・早起き・朝ごはんを実践する子「一日を気持ちよく生活できるリズムをつくろう！」

5 具体的な取組例等

(1) 児童生徒の望ましい生活習慣の向上を図るため、学校・家庭・地域・行政が「望ましい生活習慣等を身に付けた子どもの姿」を共有し、連携・協働する体制を確立するとともに、家庭への呼び掛け及び児童生徒への働き掛けを行う。

(2) 「望ましい生活習慣等を身に付けた子どもの姿」について、学校の実情や児童生徒の実態を踏まえ、学校、保護者、地域住民が学校ごとの重点項目や具体的な手立てについて検討し、連携・協働して取り組む。

(3) 学校・家庭・地域・行政による連携・協働のイメージ図（下図）

